

# JAY SHETTY

LONDON  
SPEAKER  
BUREAU

- Award-winning digital strategist turned social media influencer and viral content creator



## Topics

- Digital
- Environment
- Future
- Society
- Technology

Jay Shettyはイギリス生まれ、かつての僧侶で受賞歴のあるデジタルストラテジストで、ソーシャルメディアインフルエンサーとバイラルコンテンツクリエイターを魅了しました。2016年に彼のビデオチャンネルを立ち上げて以来、Jayのバイラル知恵のビデオは2億を超えるビューを集め、世界中で15億を超えるフォロワーを獲得してきました。

Jayは、2017年のForbes 30 Under 30 Classで、メディアの世界でゲームチェンジャーおよびインフルエンサーとして知られています。HuffPost Live #FollowTheReaderでのジェイの毎日のショーは、彼がラッセルブランド、ティムフェリス、博士シェファリ、サイモンシネックとディーパックチョプラのようなものにインタビューしたところで、毎日百万人に達しました。Jayは、知恵を広めることを使命とした、教育的で洞察に満ちたコンテンツを、面白くて高揚する形式で配信することを目指しています。彼の感動的なビデオリーチは、発売から7日以内に35~1億ビューの急上昇を遂げることが知られています。彼はSnapchatやFacebookの同類のためのコンテンツを作成し、それと提携しておりNational Geographic Chasing Genius Councilで働いています。

18歳の時に修道士に会った後、ジェイは個人的な成功を再定義しようとしてきました。金、名声、権力とは対照的に、彼は奉仕の生活、影響、そして情熱に触発されました。Cass Business Schoolで行動科学の第一級BSc(Hons)学位を取得した後、彼は一流企業からの有利な求人辞退し、インドに移動し、僧侶として住んでいました。彼はスーツをローブと交換し、頭を剃り、床で寝て、ジムのロッカーの外に住んだ。ジェイは1日4~8時間瞑想し、古代の哲学を学びました。半日は個人の成長に費やされ、他の人は他人を助けるために費やされました。これは個人的なそして集合的な瞑想、研究と反射から教えと慈善活動まですべてを含みました。ジェイは、3年間にわたり、持続可能な村の建設、1日に100万食を超える食事を提供する食品プログラム、そしてインドとヨーロッパ各地で数千年にわたる指導を行いました。

ジェイは教祖から彼が道を去ったならば彼が学んだことを共有することができるという提案を受けました。ジェイは彼の両親と一緒にロンドンに戻りました。幸いなことに、彼の友人たちは今や世界最大の組織のために働いていますが、途方もないストレスとプレッシャーを経験しているので、Jayに、幸福、目的、そしてマインドフルネスについてのコーチを依頼しました。ジェイはEYとナスダックを含む世界最大の企業の修道士としての彼の経験を共有し始めました。

できるだけ多くの人々と彼の学んだことを共有したいという願望に動かされて、彼は世界と再従事し、知識がエンターテインメントと同じくらい早く広がることを可能にするかもしれないツールとテクニックについて学ぶことに最初に取り組みました。彼はアクセンチュアに入社し、新しいデジタルランドスケープを形成する力について学びながら、デジタル部門の構築を支援しました。彼はすぐに彼らの一番のソーシャルメディアインフルエンサーとなり、400,000人の会社になりました。その過程で、彼は個人的なブランドについて150人以上の幹部にアド

バイスしました。それは理論をテストするための非常に広い基盤を提供しました。彼は彼の調査結果を利用して2016年に自分のFacebookページを立ち上げました。

JayのビデオはArianna Huffingtonが見つけたもので、彼はHuffPostのシリーズを作るよう彼に依頼しました。彼の最初の4つのビデオは5000万回以上の視聴を記録した - これまでで最高のHuffPost Ariannaは、Jayをニューヨークに招き、#FollowTheReaderを作成したHuffPostLiveのシニアホスト兼プロデューサーになりました。作家や人生を変えるアイデアを特集したFacebook Live Daily Talk Showは、情熱、目的、マインドフルネス、回復力、失敗、そしてコミュニケーションをテーマにした観客婚約で第1位になりました。

最近では、ジェイはバイラルビデオ会社、グループコーチング、そしてワークショップを通じてブランドを拡大し続けています。